

FIGHT meets “L”.

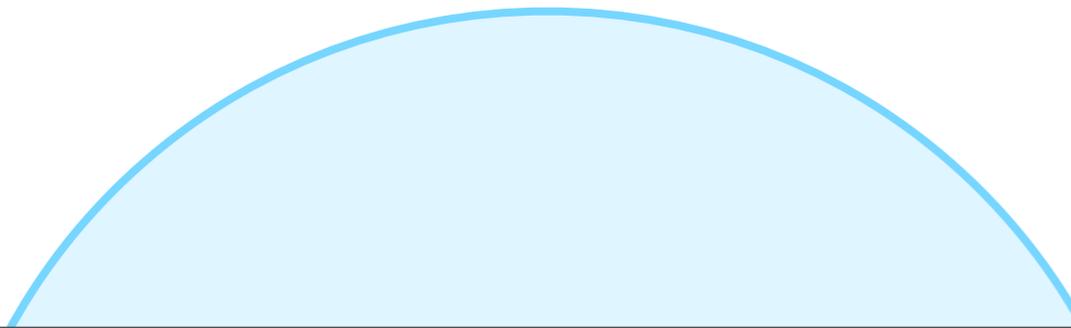
7th. AKIBA LT

2007.7.13

あまのりよー



はじめにお礼

- 本日は**伝統ある AKIBA LT** にお招きいただき、ありがとうございます
 - 存在を知って以来気になっており、さらに**金野さんの発表**を聞いて「行きたい！演りたい！」
と言ってみたら、なぜかここに立つことが出来ました
 - みなさんの**行動力**に敬意を表します
- 

自己紹介

・Sグループの方から来ました

・続きはWebで

検索

SEARCH

名前 姓： 名：
※姓名は漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字などで検索してください。

ニックネーム

性別 男性 女性 問わない

年齢 歳～ 歳

血液型

現住所 ▼指定なし(全域)

出身地 ▼指定なし(全域)

趣味

職業

キーワード

写真の有無 有のみ

検索

・いや、懇親会で

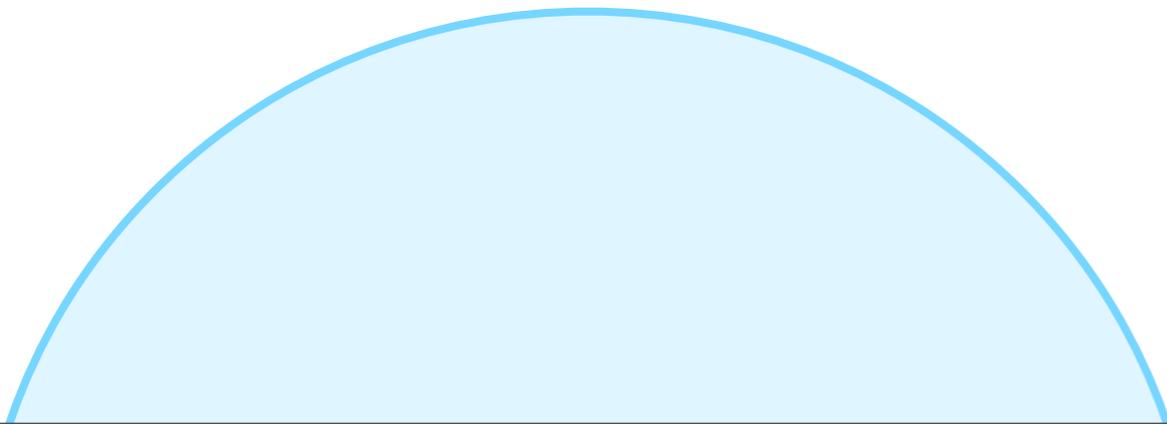
Click!

宣伝

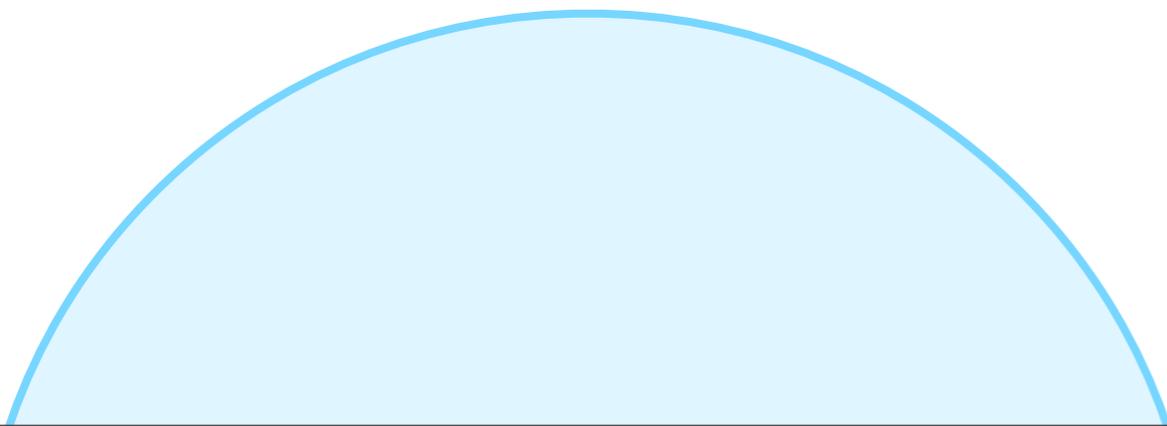
- エンジニアマインド (技術評論社) vol.2 及び vol.3
に書いた記事を**Web公開**しました
<http://mugiwara.jp/ki2/>
 - * 『Extreme Experience 「誰と」重要』 (vol.2)
 - * 『ライトニングトークス水先案内』 (vol.3)
- 読んで感想いただけると嬉しいです ♪



What's "L"?

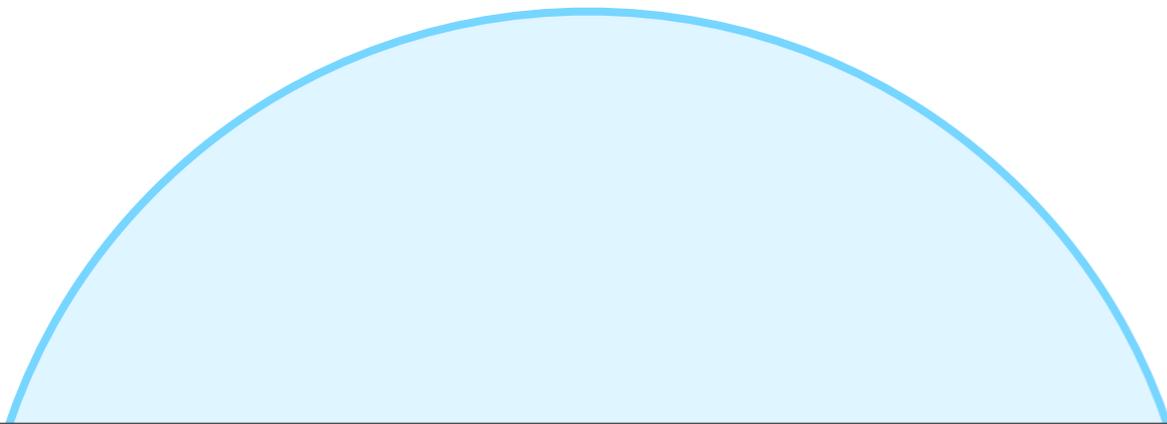


What's "L"?



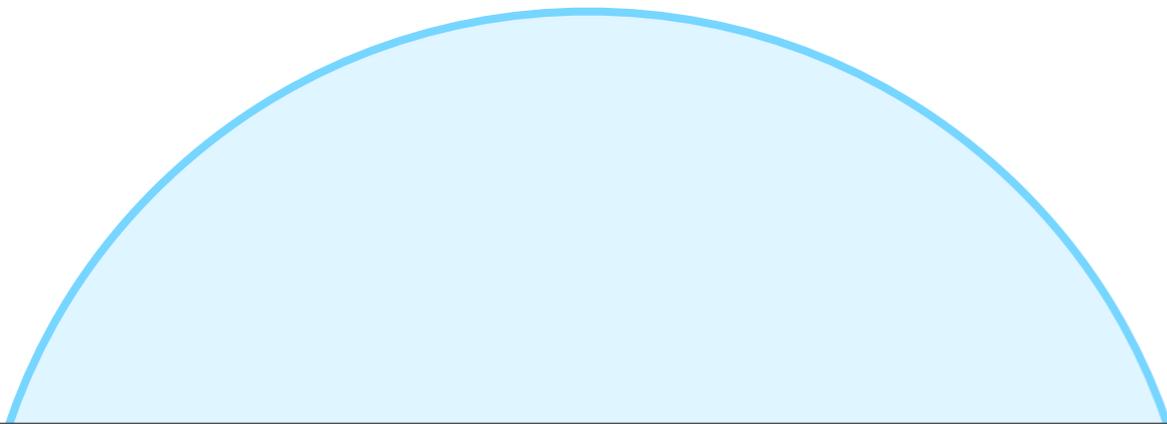
What's "L"?

- "L" is for...



What's "L"?

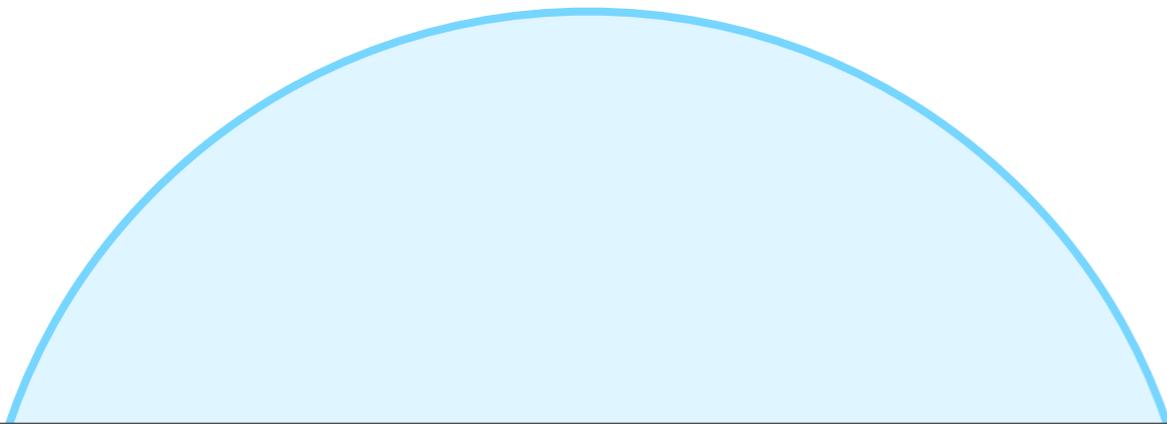
- **"L"** is for...
 - * **Laughing**



What's "L"?



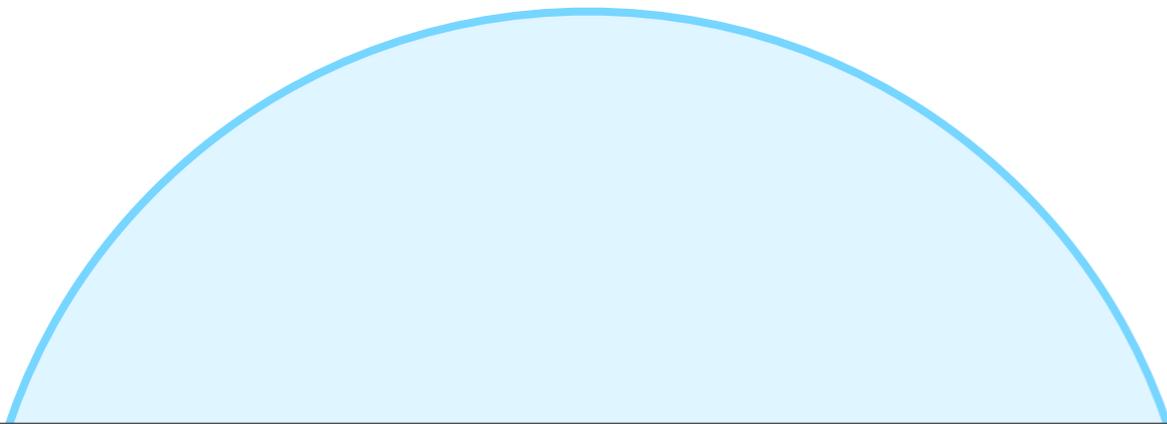
- **"L"** is for...
 - * **L**Laughing
 - * **L**Learn



What's "L"?



- **“L”** is for...
 - * **L**aughing
 - * **L**earn
 - * **L**ean



What's "L"?



- **“L”** is for...
 - * **L**Laughing
 - * **L**earn
 - * **L**ean
 - * **L**ightweight

What's "L"?



- **“L”** is for...
 - * **L**Laughing
 - * **L**Learn
 - * **L**Lean
 - * **L**Lightweight
 - * **L**Lightning

What's "L"?



- **"L"** is for...

- * **L**aughing

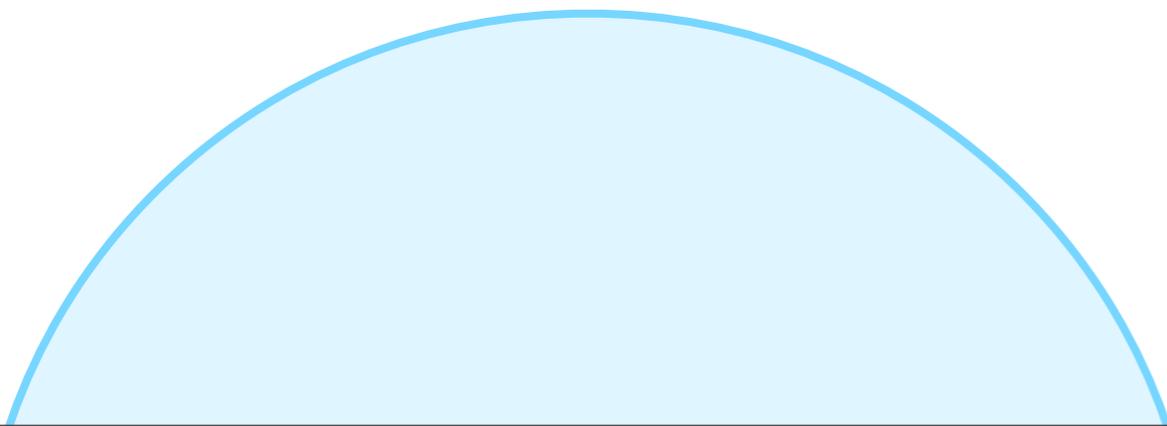
- * **L**earn

- * **L**ean

- * **L**ightweight

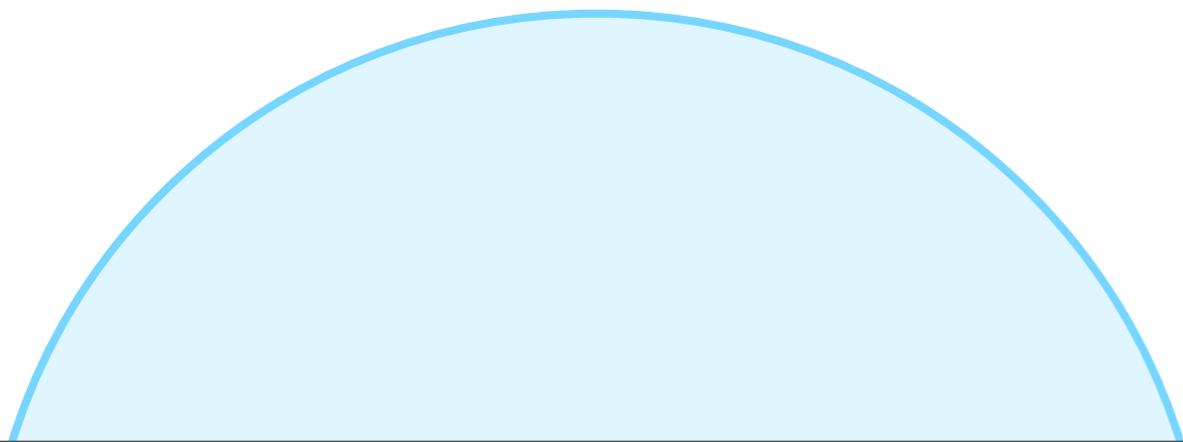
- * **L**ightning

- **こんな L 達に FIGHT が出会ったら?**



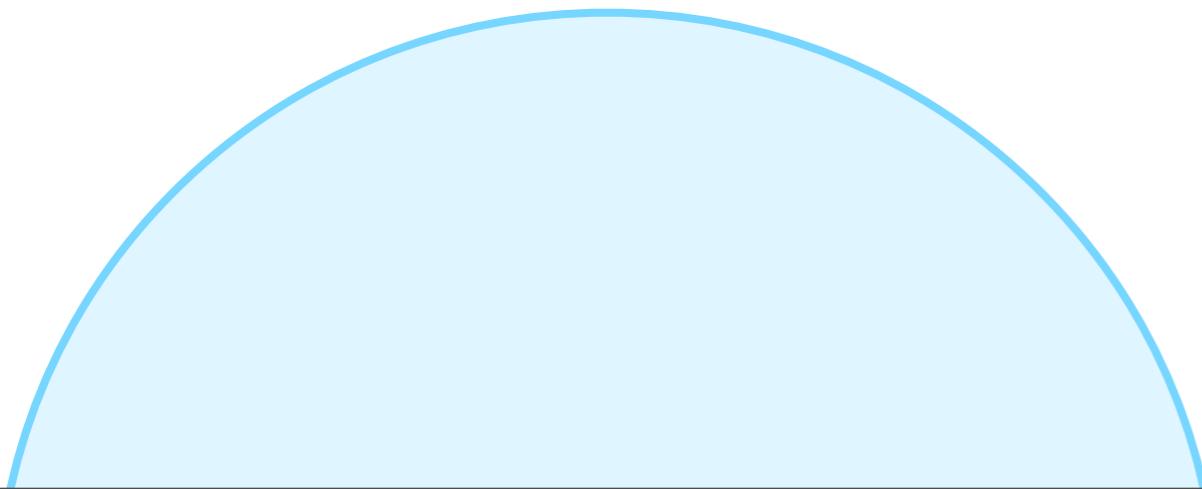
FIGHT meets “L”.

F **L** **I** **G** **H** **T**



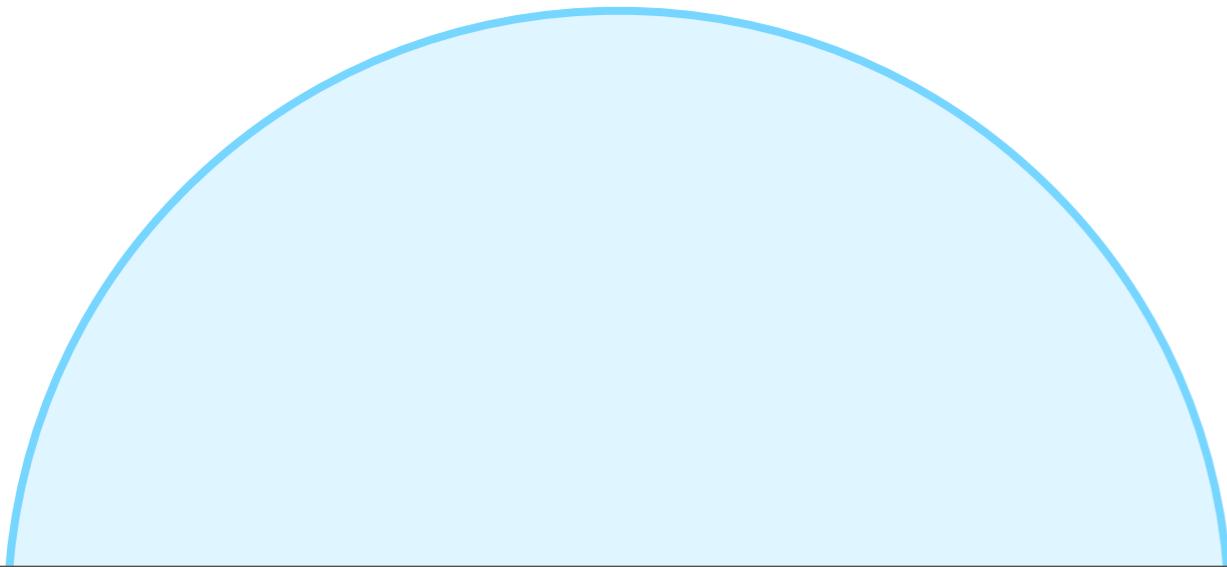
プロジェクトはFLIGHTだ！

- **FIGHT(タタカイ)の場ではないよ**
- **メンバーと一緒に飛ぶクルー**
- **目指せ最高のランディング！**
- **そのためには...？**



私が語るFLIGHTとえば

- おそらく一番大きな球を使用する球技を切り口に、ソフトウェア開発を考えてみます
- バスケではありませんよ
- さっきから出ているこれ



Hot Air Balloon

- ・「熱気球操縦士技能証」持っています
- ・いわゆるパイロットライセンス
- ・この会場に P1 か Pu/t の方、いらっしゃいますか？



関東のフライトエリア 渡良瀬遊水池にて

先手を打ってお知らせ

- ・良く聞かれる事は、私の Web ページに
「**熱気球Q&A**」というコーナーを設けてあります

<http://mugiwara.jp/Balloon/>

- ・ex.)

Q2. **砂袋**をつんだりするんだよね？

Q8. いったい**大会**では何を競うの？

Q17. **風船おじさん**はどうなったの？

Q18. 上空でもよおしたときは・・・

... et cetera ...

「初めて」の感動を大切にしたい

- 初フライト、初トレーニング、初ソロ、それぞれ思い出深いものです
- プログラムも、小さなものであっても初めて作って動いたときの興奮は皆さんありますよね
- そのキモチを時々、反芻してみるのもいいかも

初ソロ

- ・ライセンスを取った人だけの、醍醐味
- ・なんとか一人前として認められる
- ・ソフト屋さんでいうと、
小さなプロジェクトのリーダーを任された感じか



ソロ用気球 Black Angel



ソロフライト 離陸直前

フィードバックのたとえとして

- **Kent Beck** は白本の第2章で、「車の運転」の話を持ち出した

- 個人的には、

「熱気球の操縦」の方がしっくりくる

→ **少数派**でしょうが・・・

- ET2006 のパネルディスカッションにて

平鍋さん 『 **アジャイルは「漂流」じゃなく「航海」** 』

→ この感覚に近いかも



なぜ、じっくりくるのか

- バーナーを焚いてから、
浮力として反応が得られるまで少し**タイムラグ**がある
 - 容積の大きい機体ほどタイムラグも大きい
 - ソフト開発のプロジェクトに似ているような
- レベルフライトをするためには、
こまめに、バーナーを焚く必要がある
 - なんにもせずにいると、自然冷却で浮力が無くなる
 - **sustainable** にするには、努力が必要

一見、「優雅」なイメージ

- 確かにフライトして、
上空からの眺めと気分は**格別**です



琵琶湖横断フライト中



ソロフライト中、横を飛ぶ熱気球を撮影

でも実は泥臭いんです

- **離陸前の準備、着陸後の回収とか**
回収するまでがフライトです
- **ソフト開発にも銀の弾丸はありません**
あるのは**泥臭い実践の積み重ね**だけです



泥臭いフライト長靴の山

組み立てて、バーナーチェック

- ・どれくらい泥臭いか、少しお見せしましょう



慎重かつ迅速に



バーナーチェックは「テストファースト」

インフレーション



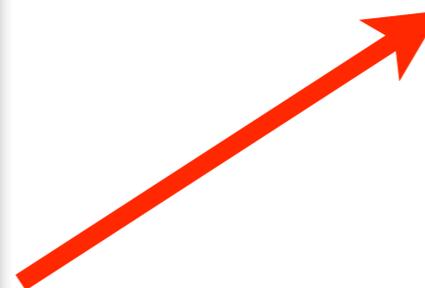
最初はべたっと広げる



大きな扇風機で冷気を入れて膨らませます



バーナーで熱気を入れて
徐々に立ち上げていく
もちろん、開口部を担当する人は危険



回収1



こんな風にしぼっていきます
この作業を「へび」と言います

球皮袋にしまって

皆で運ぶ
正直、重い



回収2



最後に一式をハイエースに積み込む



・泥臭そうでしょ

チーム重要

- パイロットだけで飛ぶわけじゃない
間違えると危険なこの乗り物を、
如何に安全に飛ばすのか



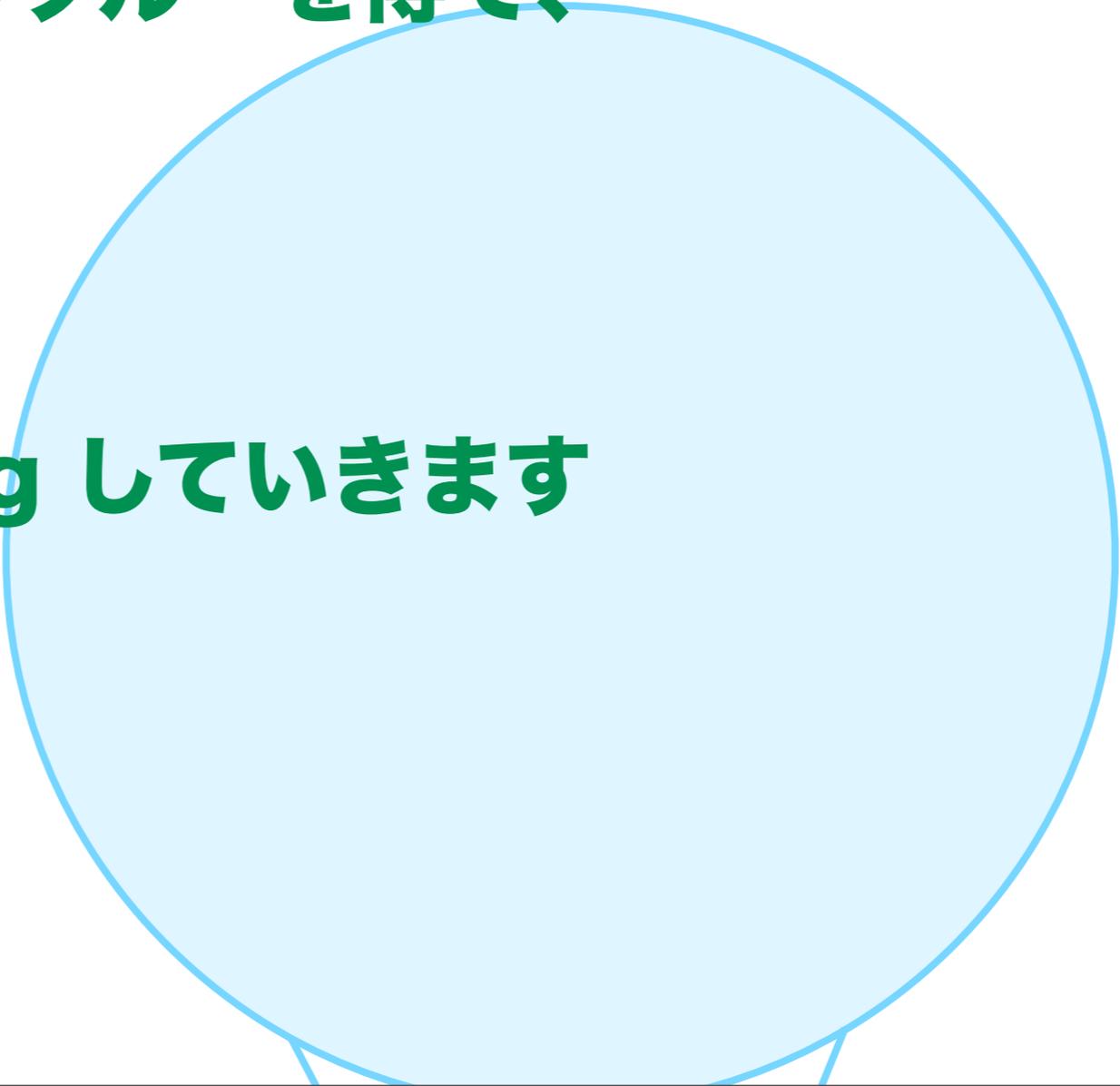
チェイスカー

- グランドクルーの協力なしには飛べません
チェイスカーと呼ばれる車と連絡を取り合います
- 各人の役割はフレキシブルに自己判断で変化します
→コミュニケーションと多様性に基づく、
プロジェクト運営

まとめると

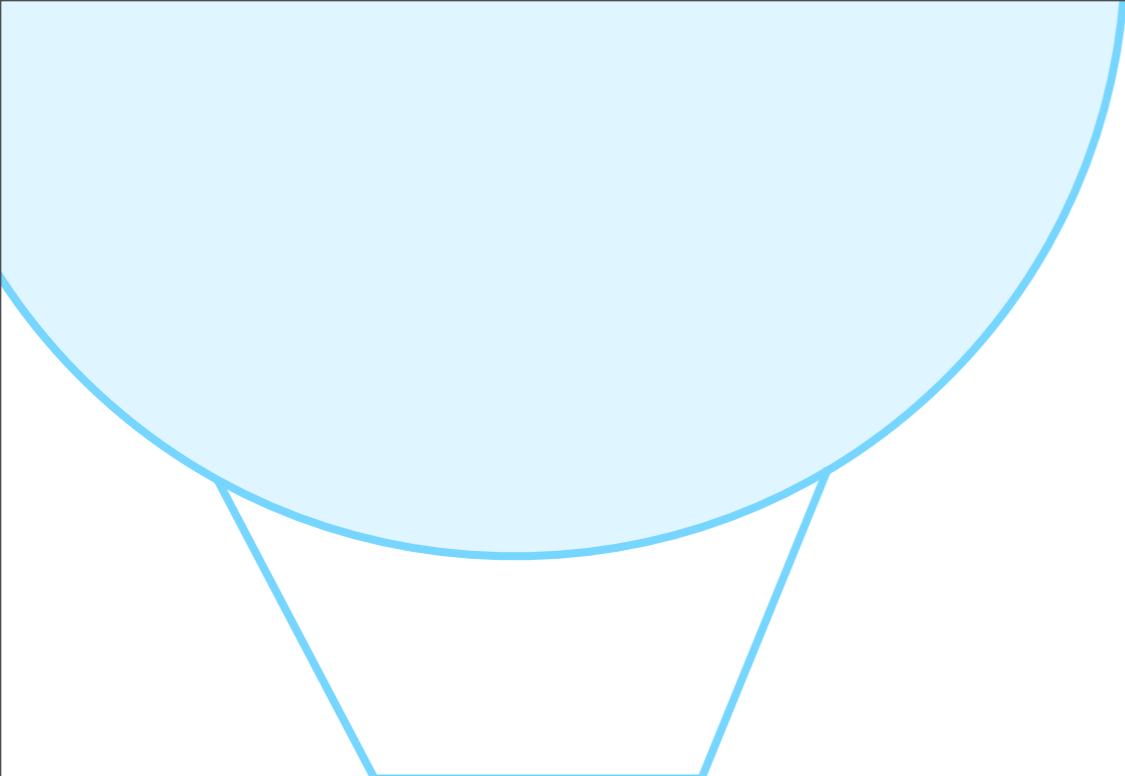
- 熱気球には、ソフトウェア開発にも適用できる要素がたくさんあります
- さあ、プロジェクトで一緒にフライトしましょう！
PJメンバーはクルーだっ
- でも、まだ言い足りない事がたくさん(^^;

そして、 FIGHT x “L”

- FIGHT に “L” 成分が混ざり、
 - PJメンバーというクルーを得て、
 - FLIGHT になり、
 - そして、 Landing していきます
- 

話せなかったイロイロ Keywords

- “フライト可否判断” と “工数見積り”
天気図・観天望気・観測風船・安全係数
- “風を「読む」” と “ゴールの共有”
高さの調整しか出来ない熱気球は
如何にして方向をコントロールするか
- “携行品” と “メトリクス”
地図, 高度計, 昇降計, コンパス, 無線機
- “ランディング” と “リスクマネジメント”



ご清聴ありがとうございました
Happy & Soft Landings!

